ISSN 1345-093X

Vol.20　No.1

第20巻・第1号

JOURNAL OF SPORT SCIENCES AND OSTEOPATHIC THERAPY

スポーツ整復療法学研究

August 2018

平成30年8月

研究資料

森　経介 …… [1]
WordPress を用いた Web シラバスシステムの構築

名和史朗 …… [7]
インターネット動画を用いた柔道整復師養成課程の学生に対する教育方法について

学会通信

第 20 回日本スポーツ整復療法学会大会案内（第二報）

編集後記

日本スポーツ整復療法学会

The Japanese Society of Sport Sciences and Osteopathic Therapy (JSSPOT)

WordPressを用いたWebシラバスシステムの構築

森　経介
朝日医療大学校　柔道整復学科

Construction of a general-purpose Web syllabus system using WordPress

Keisuke Mori
Asahi College of Medical and Health Professionals

Abstract

It is expected that the syllabus, which is a course plan detailing the necessary requirements for taking courses, will enhance the quality and transparency of education and improve student learning results. By opening the syllabus to the public on the web, visualization and efficiency of educational materials can be further improved and searching for the syllabus will be simplified. Since we have constructed a highly versatile web-based syllabus system using WordPress, we are reporting on its possibilities and future challenges. (J.Sport Sci.Osteo. Thera, 20(1),1-6,August,2018)

Keywords: Web syllabus (Web　シラバス), WordPress (WordPress), responsive (レスポンシブ)

1　はじめに

近年，大学では2010年に学校教育法施行規則の改正により，教育研究活動等の状況として公表すべき事項が具体的に示され，教育情報の公開が義務付けられるようになった。専門学校においても大学に準ずる形で2013　年に「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」が策定された。このガイドラインでは，履修登録の参考資料や，教育の質や透明性を高めること，これから職業人をめざす者への情報提供など目的から，教育内容を可視化する手段としてホームページなどを用いて広く一般に公開することが望ましいという考えがあり，シラバスの重要性が増している。また，専門学校における文部科学省指定の「職業実践専門課程」の認定学科においては，学校は必ずシラバスを作成・配布し，対象学科の目標とする人材像と各科目の関係，特に企業等と連携した実習・演習等の科目の意義や内容等を周知することとなっている。

連絡先：朝日医療大学校　柔道整復学科
Contact　：　mori.k@asahi.ac.jp

筆者は柔道整復学科に所属しており，2017　年　12　月に全国の柔道整復師養成施設のホームページを調査したところ，ホームページ上でのシラバスへのリンクが容易に判断でき公開しているのは，大学が　13　校（約92.8　％），専門学校が4　校（約2.9％）であった。シラバスの一般公開については，学校間で対応に差異があるが，教育の質保証や情報公開の観点から，Web　シラバスの重要性は広く認知されており，現在では多くの学校で冊子から　Web　にてシラバスを提供できる学校が増えてきている。

Webシラバスの公開手法はHTMLやPDFに静的なリンクを張る閲覧型と，検索などの機能を持つWebシステム型がある。最近では履修登録機能と連動する大規模なWebシステム型も利用されているが，Webシラバスが学校ごとのスキーマを持ち，専用システムを構築しなければならないため，高コスト化する傾向がある。そのため，単科の学校にとっては導入を阻害する因子となっている。本稿では2017年夏から開発に着手し，2018年4月に一般公開されたレスポンシブデザイン対応のWebサイト開発基盤となった　WordPress　を用いた　Web　シラ

バスシステムの可能性と課題について論ずる。

2 目的

本稿では高等教育機関を対象にシラバスの作成からその公開までのシステムを安価に構築できるものを検討し，実際に学内で運用し今後の課題を探ることである。

3 本校の規模

本校の学生数は柔道整復学科(3 年課程)1 学年定員 90 名，鍼灸学科(3 年課程)1 学年定員 60 名，理学療法学科(4 年課程)1 学年定員 80 名，歯科衛生学科(3 年課程)1 学年定員 50 名，言語聴覚学科(2 年課程)1 学年定員 30 名，看護学科(4 年課程)1 学年定員 40 名の医療系学科 6 学科を有しており，総定員は 1,140 名である。

3.1 シラバスの内容

シラバス(Syllabus ： 授業概要)とは，対象学科の教育課程の体系性や履修の順序，科目ごとに「科目の名称」，「対象学科」，「区分」，「授業の方法」，「開講年次及び時期」，「履修時間数又は単位数」，「担当教員」，「授業の目的」，「授業計画」，「使用教材・参考書」，「成績評価の方法及び基準」，「学生への要求事項等」等を明確にしたものであり，履修する上での必要な要件等を詳細に記した授業計画である。学内向けのシラバスについては，ほとんどの学校で作成されているが，学校ごとに作成方法や内容，閲覧する手順などが異なり，学内においても各担当教員の裁量の幅が大きく多種多様である。本システムでは，大学のような履修登録の参考資料としてのシラバスではないため，データベースの機能や検索の機能は最小限にて構成した。

3.2 WordPress の利用

WordPress は，2003 年にオープンソースソフトウェア(Open-source software ： OSS)のブログ作成システムとして公開された。オープンソースであるため，世界中の有志によってソースコードのメンテナンスや改修が行われ，安定した動作とセキュリティの脆弱性に対して高い頻度でバージョンアップが繰り返されている。また，個人・商用を問わず無料で使用することができる。近年では単なるブログ作成にとどまらず，コンテンツ管理システム(Contents Management System ： CMS)として利用されるようになった。この CMS は WordPress 以外にも，Joomla，Drupal などの無償 CMS や MovableType などの有償 CMS などがあり，Q - Success 社の W3Techs.com の調査サービスでは，2017 年 11 月 9 日現在，世界中の Web サイトのうち 28.9%は WordPress で作成されており，CMS で作られたサイト限定では，59.7%と WordPress は半数以上のシェアを占めている[(1)]。

以前はホームページを開設するには HTML や PHP などの言語の知識が必要であったが，WordPress では CMS 専用の管理画面でコンテンツの追加・編集・削除などの作業を操作するため，専門知識やスキルを必要とせず，比較的簡単にサイトを作成することができる。また使い方やトラブルに対しても，多くのユーザーが利用しているので解説サイトが多く，関連書籍も豊富である。この他にも WordPress には機能を拡張できるプログラムである「プラグイン」が多数存在し，そのほとんどを無料で利用できるため，サイトにさまざまな付加機能を追加することが可能となる。

3.3 レスポンシブデザインの構築

大学生のスマートフォン保有率はここ数年急激に増加している。マイナビが 2017 年卒のマイナビ会員の大学生に対して行った調査[(2)]では学生のスマートフォン保有率は 97.4%となっており，いまやほとんどの学生がスマートフォンを保有している。よって，Web サイトを構築したとしても，パソコン画面上だけでなくスマートフォンの画面の大きさにも対応する必要がある。

単純なサイト構築では，スマートフォン上では画像が縮小されたり，画面から画像がはみ出たりする。昨今のスマートフォンにも画面サイズが小さいものから大きいものまで多数存在し，またタブレットなども考慮すると，様々な端末の機種に依存しないデザイン構成が必要となってくる。近年，端末のサイズによって自動的にコン

テンツを縦並びに変えたり，不要なものを表示させなかったりして見栄えを整えるレスポンシブ・Web デザインが登場した。WordPress ではレスポンシブ・Web デザインにて作成するためにはテキストモードで作業する必要があり，HTML や CSS（スタイルシート）の知識が必要になる。

4 WordPress の基本構成

4.1 Web サーバーへのインストール

WordPress は無償だが，Web サイトを公開するには，Web サーバーやドメインを用意する必要があり，これには費用が発生する。また，WordPress を Web サーバーにインストール作業が必要となり，この点においては若干の知識やスキルが必要となるが，最近では自動インストール機能を用意している Web サーバーも増えており，簡単な入力や操作だけで WordPress を使い始めることができる。今回は自動インストール機能を備えている Web サーバーに WordPress をインストールした。

4.2 サイトディレクトリ構造

サイトディレクトリ名（WordPress ではパーマリンクという）については以下のような注意点が必要である。
①数字だけのファイル名だと，年別ページと重複する可能性がある点，②投稿記事の ID である Post ID が 4 桁（1000～9999）では，WordPress 側で自動的に記事を非表示にする「4 桁フィルター」が作動し，記事が表示されなくなる点，③月別ページと Post ID の記事が同じ URL になってしまう点などがある。これらに対応するべく，ディレクトリ名は最初の文字はアルファベットとし，数字で始まることや，すべて数字としないこととした。また，本校は昼間部と夜間部があり，ほぼ同一の授業を展開する場合であっても，そのシラバスは別々に作成するものとし，よって授業コードは開設するすべての授業科目に付与した。

4.3 WordPress の設定

パーマリンクの設定は数字ベースの URL 構造にならないようにカスタム設定とし以下の記述を追記した。

/%category%/%postname%/

また，テーマは商用にも無料で利用でき，著作権表示が不要なファーストサーバ社の無料 WordPress テンプレート（https://www.templateking.jp/）を利用した。

通常ブログでは，投稿された記事に対してコメントを行うことができるが，今回の Web シラバスでは不要であるため，「ディスカッション設定」→「投稿のデフォルト設定」→「新しい投稿へのコメントを許可する」のチェックを外した。

4.4 プラグインの導入

今回導入したプラグインは以下のとおりである。

（1）Akismet Anti-Spam (アンチスパム)
（2）Easy Google Fonts（google フォント）
（3）TinyMCE Advance（ビジュアルエディター）
（4）Import users from CSV with meta（ユーザー一括登録）
（5）Custom Field Template（カスタムフィールド）
（6）AddQuicktag（定型文の入力）
（7）TablePress（表の作成）
（8）WP Mail SMTP（メール送信）
（9）WP Status Change Notifier（レビュー待ち記事の公開）
（10）Simple Page Ordering（固定ページの並び替え）
（11）Breadcrumb（パンくずの表示）

5 主なプラグインの設定

5.1 Import users from CSV with meta

今回シラバス作成を各教員に WordPress 上に投稿させるために，教員のユーザー登録を行う必要がある。このプラグインでは csv 形式からインポートすることでユーザーの一括登録が可能になる。ユーザー権限の設定（Role）は，Contributor（寄稿者）とし，レビュー待ちの投稿を作成できるが，レビュー待ちになった投稿の公開は，編集者以上の権限グループのユーザーが行う設定とした。また，インポート CSV のうち，パスワードのカラム名は「user_pass」ではなく「password」としなければ自動的

に別の新しいパスワードが生成されてしまう点や，ユーザー権限をContributorに選択するとエラーが発生するため，「wp_user_level」と「capabilities」のカラムを CSV ファイルに加えて対処した。

5.2 Custom Field Template

各教員からのシラバス記載内容を，セルフにて投稿させるために利用したプラグイン。

5.2.1 入力用テンプレートの設定

各教員に投稿するフィールドを設定した。また，本学では各学科によって 1 単位当たりの授業時間数が異なるため，15 週（15 コマ）で行う科目や 20 週で行う科目テンプレート準備した。なお，どのテンプレートを使用するか，後述するプラグイン「AddQuicktag」により，ビジュアルエディター上に表示し選択させた。

5.2.2 出力用テンプレートの設定

次に，出力用フォーマットの設定を[cft] and [cftsearch] Shortcode Format に記述した。この設定を行えば投稿記入欄に [cft format=0] などと入力するだけで，カスタムフィールドの内容を表示できる。

```
<table class="contents">
<tr><th>授業コード</th><td>[授業コード]</td></tr>
<tr><th>科目分野</th><td>[科目分野]</td></tr>
<tr><th>授業概要</th><td>[授業概要]</td></tr>
<tr><th><small>一般学習目標<br/></small></th><td>[一般学習目標 ]</td></tr>
<tr><td colspan="2">授業計画</td></tr>
<tr><th rowspan="2"><small>回数</small></th><td><center>授業内容</center></td></tr>
<tr><td style="border-top:1px dotted"><center>個別目標</center></td></tr>
<tr><th rowspan="2"><small>第 1 回</small></th><td>[授業内容 1]</td></tr>
</table></html>
```

5.2.3 レスポンシブデザインへの対応

レスポンシブデザインに対応するため，以下のようなソースを記述した。

```
/*** レスポンシブ ***/
.contents{
  width:100%;
  border: 1px solid #d6ceb4;
  overflow: hidden;
  word-break: break-all;
  word-wrap: break-word;}
 .contents th{
  padding: 6px 8px 5px;
  border-top: solid 1px #ffffff;
  width: 30%;
  overflow: hidden;
  color: #fff;
  font-style: normal;
  font-weight: bolder;
  font-size: 100%;
  text-align: center;
  word-break: break-all;
  word-wrap: break-word;
  vertical-align: middle;
  background-color: #61c5bb;}
.contents td{
padding: 5px 10px;
text-align: left;
vertical-align: top;
color: #595960;
background-color: #ffffff;
border-top: dotted 1px #e0dccc;
overflow: hidden;
```

```
word-break: break-all;
word-wrap: break-word;
vertical-align: middle;}
 @media (max-width: 400px){
.contents th{
   width:100%;
   display:block;
   margin: 0 auto;
   border:none;
   border-radius: 3px;}
.contents td{
   display: list-item;
   width: 100%;
   border-top: none !important;}
}/* end */
```

5.3　AddQuicktag

ビジュアルエディター上にタグを置き，タグを選択するだけで投稿記入欄にカスタムフィールドの出力用コードを自動で[cft format=**]と表示させるプラグインを導入した。クイックタグの追加画面で，ボタンのラベル，ダッシュアイコン，ラベル名，開始タグを入力し，ビジュアルエディターと投稿ページに表示させる設定とした。

5.4 TablePress

各学科のカリキュラム表を作成し，科目名をクリックすると，カスタムフィールで投稿したページに跳ぶようにリンクを貼るページを作成した。テーブルの作成にあたっては，学科ごとのカリキュラム表のエクセルファイルをインポートした。ただし，そのままインポートすると文字化けしたため，一度メモ帳で文字種を「utf-8」に変換して，その後カンマ区切りの csv ファイルを作成しインポートした。また，全てのテーブルの見出しをセンタリングし表示したかったため TablePress のカスタム CSS に以下のコマンドを追記し，テーブルのスタイルを変更した。

```
.tablepress thead th {
        text-align: center !important;}
```

5.5 メール通知

Gmail サーバー経由メールが使用できるようにするために，WP Mail SMTP のプラグインを用いてメールの設定を行った。また，レビュー待ちの投稿がされた時に管理者にメールで通知するために，WP Status Change Notifier のプラグインを導入した。

6 情報セキュリティへの対応

今回用いた Wordpress はオープンソースのため，脆弱性が発見されやすく，ハッカーの標的になりやすい特徴がある。よって構築にあたり，①Wordpress 公式のテーマやプラグインの使用，②WordPress 本体やテーマ・プラグインの最新版の利用，③WordPress のバージョン表記の非表示，④「wp-config.php」をアクセス不可に設定，⑤「Akismet」プラグインによるスパムコメント対策，⑥ブルートフォースアタック（総当たり攻撃）対策に，可能な限り長いログイン ID とパスワードを使用するなどの対策を行った。

7 システム運用

2018 年 4 月から本システムを一般公開するにあたり，事前に教員を対象としたガイダンスを実施した。本学では初めてのシステムであり，新システムに移行することへの不安や，従来型の紙媒体への安心感など，情緒面での問題を解消するために，各学科の IT に精通した教員で構成された「IT サポーター」を中心に，やさしいものから徐々に進めていく体制にて進めることとした。また，ペーパーレス化によって紙消費量削減につながる点なども強調し，投稿する教員からの支持や協力を得られるように進めた。

投稿に際しては，従来の Word や Excel 形式でのシラバスの入力が，Wordpress 上のフォームに変更になっただけで，入力作業においては目立った支障はなかった。また，パーマリンクをあらかじめ設定されたルール通り（各学科の頭文字半角英字 1 文字と授業コード）に入力しなければリンク切れとなるため，正確に行うよう指導した。

8　結果と考察

入力する教員の協力を得つつ，低コストであるオープンソースの WordPress を用いて端末に依存することなく利用できる，レスポンシブデザインにて Web シラバスを構築した。結果として学生が常時携帯しているスマートフォンにて，シラバスが閲覧できるようになり，比較的容易に授業内容を把握できることが予想される。今後はアクセスログから利用頻度を解析し，本システムの実用を評価する予定としている。

今後の課題としては，Web シラバスの活用が授業を履修する上で効果的になるよう，さらに関心を誘発するような記載内容の充実や，Web シラバスと連動する学習管理システム（Learning Management System ： LMS）や教務システムとの連携，教員からは専用のエクセルファイルなどからインポートできる機能などを追加要求があった。

9　結論

今回構築した Web シラバスは，One Source Multi Devices にて作成することで，端末に依存することなく利用できる Web シラバスを提供することができた。オープンソースであるため導入コストが低いこともあり，今後 Web シラバスシステムの普及に役立つことを期待している。

参考文献

1）Usage Statistics and Market Share of Content Management Systems for Websites, https://w3techs.com/technologies/overview/content_management/all.〔accessed 2017.12.01〕

2）マイナビニュースリリース, https://www.mynavi.jp/news/2016/02/post_10835.html〔accessed 2017.12.10〕

3）川場隆，土屋健，小柳恵一，「汎用型ウェブシラバスシステムの開発」，日本教育工学会論文誌 35，2011，61-64.

4）常盤祐司，「WordPress を用いた大学研究所向けモバイル対応 Web サイト開発」，研究報告教育学習支援情報システム（CLE），1，2013，1-6.

5）廣住豊一，伊藤良栄，吉岡基，亀岡孝治，「三重大学生物資源学部におけるウェブ版シラバスシステムの構築」，三重大学生物資源学部紀要 32，2005，95-102

抄録

履修する上での必要な要件等を詳細に記した授業計画であるシラバスは，教育の質や透明性を高め，学生の学習成果を向上させることが期待される。また Web 上にシラバスを一般公開することで，さらなる教育内容の可視化や効率化が図れるとともにシラバスの検索が容易になる。今回 WordPress を用いた Web シラバスシステムを構築したので，その可能性と今後の課題について報告する。

（受理　2018 年 8 月 8 日）

インターネット動画を用いた柔道整復師養成課程の学生に対する教育方法について

名和史朗

名古屋医専

On the educational method for vocational college students of judo therapy using internet videos.

Shiro Nawa

NAGOYA ISEN

Abstract

In recent years, the Internet environment has advanced dramatically. Today, anytime, anywhere, anyone can connect to the Internet. Internet users are able to watch a lot of educational videos free of charge from the video playback site "YouTube". However, in the field of education of Judo therapists, there are no reported practices of educational method using Internet videos. The purpose of this research is to increase the effect of education using effective videos in the field of education of Judo therapists. We obtained questionnaire responses from all 49 participants. The result was that the viewers were generally satisfied with the videos created. We found that Internet videos are an effective educational method. (J.Sport Sci.Osteo.Thera,20(1),7-11,August,2018)

Keywords：Videos(ビデオ), Internet(インターネット), education(教育)

【目的】

約 10 年前よりブロードバンドが始まり、インターネット環境は飛躍的に進んだ。現在では、Wi-Fi 環境も整備され、いつでも、どこでも、だれでもインターネットの接続が可能になった。インターネット動画サイト『YouTube』では、動画再生時に企業の広告が入り、その経済市場規模は、株式会社サイバーエージェントによると、880 億円(2017 年)と予想された [1)]。

予備校最大手である『東進ハイスクール(東進衛星予備校を含む)』では、学生に判りやすく人気の高い講師の授業風景を動画で撮影し、DVD にて保存している。予備校生はその DVD にて動画を視聴しながら学習する。わからないところを何度も再生し、理解している場合は倍速再生し、効率よく自分の学力に合った勉強方法ができる。このように効果的な勉強方法を実施した結果、2018 年の東京大学現役新入生の 2.9 人に1人が東進ハイスクール出身者である [2)]。税所 [3)]は南アジアのバングラディッシュにて東進ハイスクールの教育方法を模倣し、2010 年にバングラディッシュで最も権威の有るダッカ大学に農村部の高校生を 1 名合格させ、2013 年までに 50 人以上の貧しい高校生を難関大学に進学させている。今では、税所は e-education[4)]と言う組織を立ち上げ、2016 年には 14 カ国にて活動を広げ、作成した動画数は 2158 本となり、累計生徒数が 15807 人にまで増えている。以上の事から、このような動画による学習方法は効果的であると考えることができる。

しかし、柔道整復師の教育分野において動画を用いた教育方法を実践している報告はない。今回の研究の目的は、柔道整復師の教育分野における、学生に理解しやすい効果的な動画の作成である。作成した動画を『You Tube』にアップロードし、いつでも、どこでも、だれでもその動画を視聴し学習できる環境を整備する。そして、柔道整復師養成施設の通常授業では、その動画内容の復習をすることにより、さらに理解を深めることがで

きる。教育に効果的な動画を用いて、学生の理解を促進し教育効果を高める事が本研究の目標である。

【方法】

平成29年9月～11月までの3ヶ月の間、授業解説の動画を作成し、インターネット動画サイト『You Tube』にて作成した動画をアップロードした。作成した動画は、柔道整復理論に関する動画が7本、解剖学に関する動画が5本、合計12本である。12月初旬に定期試験を行い、同時に作成した動画の効果に関するアンケート調査を行った。なお、作成した動画の内容は、12 月初旬の定期試験の出題範囲である。

対象者は、某柔道整復師養成施設柔道整復学科 1年生午前部27名、午後部22名、合計49名である。アンケート項目は、「どれくらい勉強の参考になったか」について、「動画を見た頻度」について、「動画の良い点」について、「動画の改善点」について、「どのような動画が勉強の参考になるか」についての5項目である。

【結果】

アンケート対象者 49 名全員より回答を得ることができた。

ⅰ)「どれくらい勉強の参考になったか」について

アンケート項目の「どれくらい勉強の参考になったか」について、①が“非常に参考になった”、②が“参考になった”、③が“どちらでもない”、④が“参考にならなかった”、⑤が“非常に参考にならなかった”と 5 段階に分けて回答を得たところ、①が17名、②が24名、③が8名、④が 0 名、⑤が 0 名であった。それぞれの割合は①が35%、②が49%、③が16%であり、④と⑤は0%であった。①と②が全体の84%を占めた(図 1)。

ⅱ)「動画を見た頻度」について

アンケート項目の「動画を見た頻度について」、①が“週に 4 回以上”、②が“週に 3 回以上”、③が“週に 2 回以上”、④が“週に1回以上”⑤が“見てない”と5段階に分けて回答を得たところ、①が4名、②が11名、③が12名、④が18名、⑤が4名であった。それぞれの割合は①が 8%、②が 22%、③が 25%であり、④が 37%、⑤が 8%であった。動画を見た頻度が少なくとも週に 1 回以上である割合が92%であることが判った(図 2)。

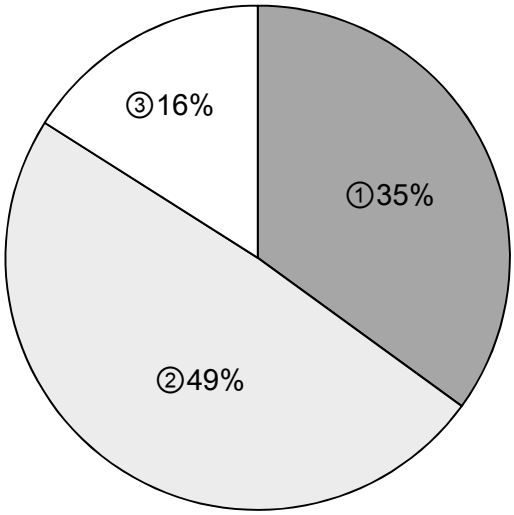


図 1.「どれくらい勉強の参考になったか」
①“非常に参考になった”、②“参考になった”、③“どちらでもない”、④“参考にならなかった”、⑤“非常に参考にならなかった”

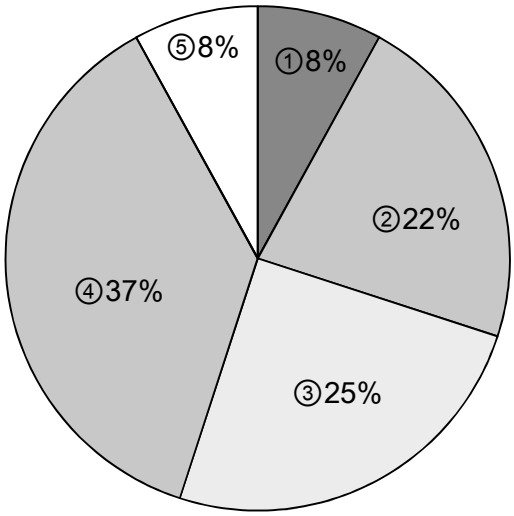


図 2.「動画を見た頻度について」
①“週に4回以上”、②“週に3回以上”、③“週に2回以上”、④“週に1回以上”、⑤“見てない”

iii)「動画の良い点」について

アンケート項目の「動画の良い点」について、自由記述形式にて回答を得たので以下に箇条書きにて示す。なお、類似した記述は省略した。

・授業を受けている感覚になるので、1人で勉強するよりは集中でき、理解しやすい。
・何が違っており、その理由も解説してあるのでわかりやすい。
・授業では進むスピードが速く理解するのが難しいが、動画なら、配付プリントと照らし合わせて自分のペースでできるから理解できる。
・電車移動の空き時間や寝る前に視聴できるので時間を有効活用することができる。
・図や絵を用いて解説しているので、視覚的に理解しやすい。
・本や教科書では敷居が高いが、動画だと気軽に見られるので勉強に始めやすい。
・授業では、みんながいるから質問しにくいが、動画だと判らないところを繰り返し見ることができる。
・判らないところを繰り返し見ることができる。
・図などを取り入れておりわかりやすい。動画の時間が10分位であり、集中して視聴できる。
・スマホで視聴できるので、教科書よりも持ち運びがきくのでどこでも見られる。
・教科書だとただ自分でみているだけになるが、動画だと耳からも入るのでわかりやすい。
・授業で聴き逃した問題の解説が聞けたのが良い。
・短くまとまっており、何回でも視聴できる所が良い。

iv)「動画の改善点」について

アンケート項目の「動画の改善点」について、自由記述形式にて回答を得たので以下に箇条書きにて示す。なお、類似した記述は省略した。

・光の反射などで見えない箇所がある。
・授業ではやっていない細かいところを分かりやすく説明してほしい。
・人気 YouTuber みたいにお笑いの要素も取り入れるとより動画が拡散し、視聴者が増えるのではないだろうか。
・図や絵をもっと使用してほしい。
・配付プリントや教科書には書いていない事を教えてほしい。
・国家試験過去問題の解説動画では、解説スピードが速いのでもう少し遅くしてほしい。
・教科書以外の情報ももっと取り入れて良いと思います。

v)「どのような動画が勉強の参考になるか」について

アンケート項目の「どのような動画が勉強の参考になるか」について、自由記述形式にて回答を得たので以下に箇条書きにて示す。なお、類似した記述は省略した。

・画像診断に関する動画が見たい。
・整復法や固定法の仕方であり、患者の協力を得て、実際に整復しているところを視聴したい。
・勉強方法の動画や、暗記するための語呂合わせの動画が見たい。
・今回と同様に過去問題の解説動画が見たい。
・骨模型やヒトの身体を用いて、骨折の発生機序の説明動画があるとわかりやすい。
・外傷の発生機序を実際に行えば、イメージしやすいので覚えやすい。
・一問一答で問題数を沢山こなす動画が見たい。

【考察】

アンケート項目の「どれくらい勉強の参考になったか」について、①の“非常に参考になった”と②の“参考になった”の合計が 84%であったことより、動画は概ね効果的であった事が示唆された。これは、動画を見ている間、分かりにくい箇所があれば、もう一度再生して何度でも視聴する事ができるため、理解がより深まると考えられる。また、もう一つの理由として、インターネットの無線接続であるWi-Fiの普及により、視聴者のタイミングでいつで

も視聴する事ができるためであると考えられる。高校や大学等の入学試験では、多くの私塾が入学試験対策として、インターネットや DVD による動画教育を採用しており、難関大学入学に対して一定の評価を得ている [2]。一方で、医療系国家試験では、教員によるマンパワーに頼る事が多く、効率的かつ効果的な授業を展開しているかどうか評価が難しい。

国家試験対策授業の体系化を目指し、毎年、授業を見直す事により、効果的な授業の展開が期待できる。それには授業を撮影しインターネットで公開することにより、学生や教育者、又は保護者より評価を得ることができる。そうすることにより、さらに効果的な授業動画を作成することができる。

「動画を見た頻度」について、少なくとも週に 1 回以上である割合が 92%であり、週に 3 回以上である割合が 30%であった。今では一人一台スマートフォンを持っており、いつでもインターネットにアクセスできる。例えばリビングでくつろいでいる時でも気軽に動画を見ることができる。気持ちを切り替え机に座ってから勉強する、という事よりも、リビングでくつろぎながら動画を見て勉強する、という事の方がより気軽であり、動画を見る頻度の向上に繋がったと考察できる。

「動画の良い点」について、自由技術形式にて回答を得た。今回の研究の焦点である、“いつでもどこでもだれでも見ることができる”という点について肯定的な意見が多く研究目的の狙い通りであった。動画の良い点は、やはり、自分のペースで見ることができ、理解している箇所は早送りし、難しい箇所を何度でも繰り返し視聴することができる。そして、スマートフォンがあれば場所も問わず視聴できる。こういった理由により肯定的な意見が多かったと考察できる。

「動画の改善点」について、光の反射によって見にくい箇所があった、との記述が多かった。プロジェクターを使用して動画を撮影したので、光の反射によって見えにくい箇所ができてしまう。プロジェクターを使わずにできる動画の撮影方法を検討したい。

近年、You Tuber という職業が誕生している。You Tuber の動画を見ると、編集作業、画質、音声、テロップ等は TV 番組と同等レベルであり、動画の質が非常に高い。今回の研究では、iPhone7 で撮影しており、照明等も使用していない。動画の内容もさることながら、動画自体の質も高めなければならない。税所 [3]は、プロのカメラマンや有名講師を雇い動画を撮影している。よって質の高い動画の作成に成功している。研究資金等の獲得ができれば、今後その様にして行きたい。

「どのような動画が勉強の参考になるか」について、最も多かった記述は、整復法や固定法についてである。整復法や固定法について、教科書の記述だけではイメージすることが難しい。患者の協力を得て、実際に整復や固定している場面を動画にすることが出来れば、臨床的にも非常に参考になる。また、模型などを用いて動画を作成して欲しいという記述も多かった。整復法や固定法について、教科書を読んでも立体的なイメージを想像しにくい。模型等を用いて視覚的に判りやすい動画があればより簡単に理解することができ、技術に繋がると考えられる。

近年、“反転授業”と呼ばれる授業形態について多く報告されている [5-12]。反転授業とは、授業と宿題の役割を反転させ、授業時間外に e-ラーニングを用いて知識習得を済ませ、教室では知識確認や問題解決学習を行う授業形態の事を指す。しかし、国家試験合格率と反転授業の相関性についてはまだ報告されていない。今後、反転授業がどれだけ有効なのか、より調査していきたい。

【参考文献】

1) https://www.advertimes.com/20141023/article173412.　2018 年 7 月 14 日

2) http://www.toshin.com/jisseki/. 2018 年 7 月 14 日

3) 税所篤快(2016)自著を語る BOOK『失敗から何度

でも立ち上がる僕らの方法』国際教育支援 NPO「e-Education」創業者 税所篤快 新しいチャレンジしてますか?、週刊教育資料 1399:35

4) http://eedu.jp/main/wp-content/themes/e-education/report_2016_3.pdf. 2018年7月14日

5) 重田勝介(2014)反転授業 ICTによる教育改革の伸展、情報管理 56(10):677－683

6) 三保紀裕、本田周二、森朋子、溝上慎一(2016)反転授業における予習の仕方とアクティブラーニングの関連、日本教育工学会論文誌 40:161－164

7) 小野田公、糸数昌史、久保晃(2016)理学療法学分野への反転授業の導入時の問題と対応、理学療法科学 31(4):565－569

8) 岩崎公弥子、大橋陽(2015)反転授業を導入したアクティブラーニングの取り組み、コンピュータ&エデュケーション 39:98－103

9) 稲垣忠、佐藤端泰(2015)家庭における視聴ログとノート作成に着目した反転授業の分析、日本教育工学会論文誌 39(2):97－105

10)代田昭久(2014)「スマイル学習(武雄式反転授業)」が教育を変える、コンピュータ&エデュケーション 37:24－28

11)湯山トミ子、篠塚麻衣子(2016)初修中国語教育における反転

授業の試み–ICT 活用型中国語教育“游”における実践事例の考察-、コンピュータ&エデュケーション 40:73－78

12)坪井泰士(2016)ラーニング・マネジメント・システムを活用した反転授業とその検証、工学教育 64(2):14-19

連絡先

〒444-3172 愛知県岡崎市田口町字若草 1-216

Tel.080-5122-6615 Fax 0564－79－1783

E-mail：superheadspin@yahoo.co.jp

【抄録】

近年、インターネット環境は飛躍的に進んだ。現在では、いつでも、どこでも、だれでもインターネットの接続が可能になった。インターネット利用者の多くは動画再生サイト『you tube』を利用し、多くの教育動画を無料で視聴することができる。しかし、柔道整復師の教育分野において、インターネット動画を用いた教育方法を実践している報告はない。今回の研究の目的は、柔道整復師の教育分野において、効果的な動画を使用することによって教育効果を高めることである。アンケート対象者 49 名全員より回答を得ることができた。作成した動画について概ね満足している結果であった。効果的な教育方法としてインターネット動画を用いた教育方法は有効である事が示唆された。

（受理 2018年6月20日）

第 20 回日本スポーツ整復療法学会大会のご案内（第二報）

共通テーマ『2020 年 東京オリンピック・パラリンピックに向けて ～日本人の健康を考える～』

1. 会期 ： 平成 30 年 10 月 20 日（土）・21 日（日）

2. 会場 ： 東京海洋大学品川キャンパス 白鷹館（〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7）

3. 交通 ： 1) JR 線・京品急行線「品川駅」下車、港南口より徒歩約 10 分

2) りんかい線「天王洲アイル駅」下車、徒歩約 15 分

3) 東京モノレール「天王洲アイル駅」下車、徒歩約 10 分

4. 日程 ：

【大会前日：10 月 19 日（金）】

16:00－17:00 役員会（会長・副会長・理事長・事務局）

17:00－18:00 理事会

18:00－19:00 新理事会　新理事会終了後、役員・理事・新理事懇談会

【大会 1 日目：10 月 20 日（土）】8:30 受付開始

9:00－12:10 一般発表

12:20－13:00 評議員会

13:20－14:20 **特別講演「2020 年を健康で迎えるための貯筋運動」**

演者：福永哲夫（元鹿屋体育大学学長・東京大学名誉教授）

司会：千足耕一（東京海洋大学教授・日本スポーツ療法学会理事）

14:30－16:30 **シンポジウム「柔道整復師の伝統と現在、未来」**

演者：幡中幹生（株式会社タシマ創健代表取締役・田島接骨院九代目当主）

内藤晴義（神奈川県柔道整復師協同組合副理事長・

公益社団法人日本医学協会理事・内藤接骨院院長）

伊澤政男（日本スポーツ整復療法学会関東支部・伊澤接骨院院長）

司会：渡辺英一（用田接骨院院長・日本スポーツ整復療法学会監事）

16:50－17:50 **20 回大会実行委員会特別企画Ⅰ**

「東京オリンピックに向けて－4 度の五輪と怪我、そのケアー」

演者：伊調 馨（総合警備保障株式会社・

オリンピック女子レスリング金メダリスト）

司会：佐竹弘靖（専修大学教授・日本スポーツ整復療法学会副会長）

18:30－ 懇親会

【大会 2 日目：10 月 21 日（日）】8:30 受付開始

9:00－10:00 一般発表

10:10－11:50 **学生発表コンペ ※1**

12:00－12:40　総会

13:00－15:00　**実技ワークショップ「2020年を健康で迎えるためにできること」**

演者：大石　徹（帝京科学大学）

陳　　雷（上海中医薬大学付属日本校専任講師）

袁　世華（杏林中医薬情報研究所所長）

司会：張　　軍（日本スポーツ整復療法学会評議員）

行田直人（帝京科学大学准教授・日本スポーツ整復療法学会理事）

15:10－　　**表彰式　※1　※2**

学会開催期間中、**「20回大会実行委員会特別企画Ⅱ：日本スポーツ整復療法学会20年の歴史」**を展示コーナーにポスター掲示します。

※1　本学会学生会員及び一般学生を対象に「学生発表コンペ」を行います。発表方法は口頭及びポスター発表とし、それぞれ最優秀奨励賞各１名、奨励賞若干名を表彰いたします。

※2　本大会の一般発表における優秀な発表者を表彰いたします。部門は一般の部（40 歳以上）と若手の部（40 歳未満）の二部門で、一般の部では最優秀発表賞１名と優秀発表賞若干名、若手の部では最優秀奨励賞１名と優秀奨励賞若干名を表彰いたします。

※3　企画内容、演題名及び演者は変更となる場合があります。

大会参加の申込要領

1．大会参加の申込登録の方法

大会参加申込登録は、年会費8,000円（学生5,000円）及び大会参加費5,000円（学生1,000円）の前納による事前登録を原則とします。申込方法は、郵便局（ゆうちょ銀行）振込用紙に内訳を記入の上、下記の学会事務局の郵便局振替口座へお振込み下さい。領収書は払込票によって代えさせて頂きますので、大切に保管ください。尚、大会号（プログラム・抄録集・総会資料等）は、**10月上旬**に送付する予定です。学会当日には大会号を必ずご持参ください。臨時会員は、大会当日に受付にて大会参加費7,000円（大会号は含まない）をお支払下さい。

2．大会参加費

	前納参加費	大会当日参加費	
正 会 員	5,000円	7,000円	
学生会員	1,000円	2,000円	（学生証を提示）
賛助会員	5,000円	7,000円	（展示業者を除く）
臨時会員	－	7,000円	（大会当日受付）

3．懇親会のご案内

10月20日（土）夕方より会費制による懇親会を行います。参加を希望される方は郵便局（ゆうちょ銀行）振込用紙に内訳を記入の上、学会事務局の郵便振替口座へ懇親会費をお振込み下さい。

懇親会費：事前申込 **5,000** 円　大会当日申込 **6,000** 円

4．昼食のご案内

会場の近く（品川駅近隣・天王洲アイル近隣）に飲食店がたくさんございます。弁当の販売はいたしませんので、各自ご用意下さい。

5．事前参加登録の締切日（年度会費、大会参加費、懇親会費）

10月5日（当日契印有効）。取消返金は一切行いませんのでご了承ください。

6．学会発表形式について

発表に使用するパソコンは大会実行委員会が用意した以外のものを使用できません。パソコンのシステムはマイクロソフトウインドウズ、パワーポイント2016を使用し、プロジェクターによる一面映写です。パワーポイント用のデータは、大会当日の朝受付時に提出して下さい。今回は事前のデータ提出は必要ありません。1演題の持ち時間は10分（発表8分、質疑応答2分）です。

7．宿泊施設のご案内と手配

宿泊施設の手配は、大会実行委員会事務局では一切行いませんので、個人で直接手配をお願いします。

8．学会事務局の郵便振替

郵便振替番号：00110-4-98475　口座名：日本スポーツ整復療法学会

9．大会実行委員会事務局

〒275-8576　千葉県習志野市新栄2-11-1

日本大学生産工学部　教養・基礎科学系　菊地俊紀

E-mail: Kikuchi.toshiki@nihon-u.ac.jp

演題募集要項

１．演題申込資格

演者および共同研究者（大会に参加しない者も含む）ともに本学会の会員で、年度会費および大海さん会費を納めた者に限ります。会員でない方は入会手続きが必要です。

入会手続きは会員登録用紙に必要事項を記入の上､学会事務局へE-mail添付ファイルあるいはFAXで登録し、申込締切日（**10月5日**）までに入会金2,000円、年会費8,000円および大会参加費5,000円を郵便振替用紙に内訳を記入の上、学会事務局の振替口座へお振込み下さい。領収書は振込票に代えさせて頂きますので、大切に保管ください。申請等のために学会本部の領収書が必要な場合には事前に本部に連絡いただくか、学会当日に申し出て下さい。

学生発表コンペへ参加希望の場合は上記と異なりますので、「学生発表コンペ実施要領」をご覧ください。

２．発表領域

下記の研究領域を含むスポーツ整復療法学に関する「一般研究発表」および「活動報告」で、未発表で完結したものに限ります。

１）整復療法学に関する分野

領域：柔道整復療法、カイロプラクティック療法、ポディアトリー療法、マッサージ療法、理学療法、アスレティックトレーニング療法、身体整復病態など

２）スポーツ整復工学に関する分野

領域：スポーツバイオメカニクス、身体整復工学、身体情報分析など

３）スポーツ療法学に関する分野

領域：スポーツ科学（生理、環境生理、栄養、体力評価、健康・体力づくり、運動処方など)、運動療法、スポーツ障害の治療など

４）スポーツ整復療法の原理・倫理に関する分野

領域：社会倫理、医療倫理など

５）スポーツ整復療法の評価に関する分野

領域：インフォームドコンセント、療法技術の評価、経営の評価など

６）その他、スポーツ整復療法に関する研究

３．発表時間

発表時間8分、質疑応答時間2分の計10分の予定です。

４．発表形式

パワーポイントを使用した液晶プロジェクターによる一面映写を原則とします。液晶プロジェクターの操作は発表者の責任において行って下さい。また発表時間を厳守して下さい。

５．申込方法と書類（重要）

発表者は「演題申込書」に必要事項を記入し、**9月3日**までに編集委員会事務局に郵送して下さい（E-mailによる添付ファイル可)。また、「抄録原稿」は「抄録現行作成要領」に従って作成し、**9月3日**までに同じく編集委員会事務局に郵送して下さい（E-mailによる添付ファイルでも可。その場合、ワードか一太郎によるワープロファイルとPDFファイルの2種類の抄録を添付のこと)。演題申込書は発表順、座長の決定に、抄録は大会号作成のために必要ですので締切遵守のこと。遅れた場合には演題名のみのページになりますのでご注意下さい。

第　　回日本スポーツ整復療法学会大会　演題申込書

平成　　年　　月　　日申込

和文演題	
英文 タイトル	
Key words（5個以内）	

該当する発表分野に○印を付けて下さい。また、一般研究はa～fのいずれかに○印を付けて下さい。
発表分野　　1．一般研究発表　2．特別講演・シンポジウム　3．活動報告　4．その他
一般研究発表　a)整復療法　b)整復工学　c)スポーツ療法学　d)原理・倫理　e)評価　f)その他

	氏名（下段ローマ字）	住所・電話・Fax（E-mail）
演者		〒 E-mail: 電話：　　Fax:
共同研究者		〒 E-mail: 電話：　　Fax:
		〒 E-mail: 電話：　　Fax:
		〒 E-mail: 電話：　　Fax:
		〒 E-mail: 電話：　　Fax:
		〒 E-mail: 電話：　　Fax:

共同研究者が5名を超える場合はこの用紙をコピーして追加してください。

抄録原稿作成要領

下記の要領で原稿を提出して下さい。

１．抄録原稿はA4版白色普通紙1枚を使用し、縦240mm、横170mm以内の枠内（上30mm、下25mmを空白）で作成する。提出された原稿は原寸のままオフセット印刷するので図表・写真を原稿に貼付けて完全原稿で提出する。

２．原稿は、必ずワープロ等で作成し、プリンタで印刷する。手書き原稿は不採用とする。

３．「演題名」は最上段の１～２行目の中央部に14ポイント程度の文字で、副題がある場合は行を改めて中央部に10ポイント程度でそれぞれ印字する。

４．「氏名・所属」は３～４行目に中央部に10ポイント程度の文字で印字する。共同研究者がいる場合は発表者を筆頭にし、所属は氏名の後ろに（　）で括って印字する。

例１：整復太郎（東京都〇〇接骨院)、例２：スポーツ太郎（〇〇大学）

５．「キーワード」は５行目の左寄せ10ポイント程度で印字し、５ワード以内とする。

６．「本文」は６行目から「9ポイント、25文字×43行程度の2段組（中央部1cm程度を空白)、総文字数2150字」程度の書式で、「目的」「方法」「結果」「考察」「結論」及び「文献」などの見出しを付けて「である調」で作成する。原稿用紙の空きスペースをできる限り少なくする。

７．図表・写真は全て「本文」の枠内に納めて、原稿に貼付けて提出する。それぞれのタイトルは図と写真では下部に、表では上部に印字する。

８．「X線写真」を用いる場合は、協力医師名を末尾に記載する。ただし協力医師が共同研究者に入っている場合には必要ない。

９．「活動報告」の本文も上記にほぼ準じて作成する。

10. 抄録原稿は郵送する場合あるいは特別な印刷作業が必要な場合はオリジナル1部とコピー2部を同封し、折り目がつかないように厚紙などを使用して編集員会事務局宛に送付する。（締切日厳守）

※特に困難な印刷技術を要しない原稿においてはE-mailの添付ファイルによる提出も可とする。その際には上記１から９に従って作成した抄録原稿をワード化一太郎によるワープロファイルと PDF 形式のファイルに　して送付する。

11. 発表の取り消しは抄録締切後15日以内までに大会事務局宛文書で連絡する。

12. 作成要領に適合しない抄録原稿は書き直しとなる場合がある。

13. 送付された原稿は返却しない。

14. 演題は、日本語のタイトルの下に、英字のタイトルを記載することが望ましい。

抄録原稿送付先（編集委員会事務局　村松成司）

〒263-0012　千葉市稲毛区萩台町664-83村松成司

TEL：090-8858-5697　E-mail：mshigeji@faculty.chiba-u.jp

ご質問等のお問い合わせは必ずメールでお願いします。

抄録作成時のお願い

発表抄録は発表演題の内容に応じて演者が発表しやすいように作成することが基本ですが、これまでフォント、文字サイズ、組み上げ等の表現方法および内容のまとめ方について統一性のないこともしばしば指摘されてきております。できる範囲で結構ですので、本誌掲載の抄録原稿作成要領を参考にして作成していただけますようお願いします。（事務局）

用紙　A4版 原稿作成範囲　縦240mm横170mm以内（用紙余白 上30mm 下25mm 左右横20mm）

演題名 行の中央部
14ポイント程度

氏名・所属
行の中央部 10ポイント程度

キーワード
左寄せ 10ポイント程度
5ワード以内

本文
9ポイント 2段組
25文字x43行程度
（中央1cm程度空ける）
総文字数2150文字程度

内容に応じて、目的、方法、結果、考察、結論および文献などの見出しをつける

キネシオテープの貼付方法の違いによる腰部血流、脊椎骨棘突起および腰筋の圧痛の変化に関する研究

諸星 亮（東京海洋大学大学院）、千足耕一（東京海洋大学学術研究院）

キーワード：キネシオテープ、キネシオテーピング、腰部皮膚血流、脊椎骨棘突起圧痛検査、腰筋圧痛検査

【目　的】

腰痛の有訴者率は平成25年度の国民生活基礎調査（厚生労働省）において、男性で第1位、女性では第2位である。小山内ら[1]は、腰痛のメカニズムについて、腰部椎間板ヘルニアなどの器質的疾患を除き、肉体的活動の不足と偏りによって十分な筋の収縮と伸張に欠けるために生じた筋や靭帯の硬化緊張と、そのために生じる靭帯、腱などの弾力性の喪失とその筋の血管が圧迫されることでの血流阻害の発生が原因であると説明している。また、小山内らは、腰痛を訴える者では脊椎骨の棘突起、脊腰筋の圧痛が強く認められることを報告し、その診断方法として脊椎骨棘突起圧痛検査と腰筋圧痛検査が有用であると述べている。柔道整復師が、腰部への施術の中でキネシオテープを貼付する目的の一つは腰部の血流改善である。また、キネシオテープ貼付方法については、キネシオテープを伸張させず、皮膚を伸張する方法（皮膚伸張法、以下伸張法と略記）を用いることで、貼付下の皮膚と組織間に隙間を作ることにより、血液循環を改善すると述べられている[2]が、その効果を検証した研究はない。

そこで本研究の目的は、異なるキネシオテープ貼付方法における、血流量、血液量、脊椎骨棘突起および腰筋圧痛検査、皮膚温の差異を比較することで、キネシオテープ貼付による腰部血流に対する効果と伸張法の効果を検証することとした。

【方　法】

被験者は20代の男女12名とした。検査項目は、腰部の血流量及び血液量、脊椎骨棘突起圧痛、腰筋圧痛、皮膚温である。血流量及び血液量は、レーザ血流計ALF21RDを用いて測定した。測定部位は、第2腰椎同高位の左腰最長筋上とした。脊椎骨棘突起圧痛検査は佐野ら[3]の方法に従い、第4頸椎から仙骨までを徒手にて圧迫し、被験者から圧痛強度を聴取した。腰筋圧痛検査では、徒手にて左右の腰最長筋及び腸肋筋起始部を圧迫し、被験者から圧痛スケールを聴取した。皮膚温は、非接触温度計を用いて腰部血流測定部付近で測定した。測定時期は2015年10月1日から2016年1月6日までである。キネシオテープ貼付部位は、左右の腸骨稜を繋ぐように貼付し、その後、仙骨から頭部方向に腰最長筋上に左右1本ずつ貼付した。貼付方法は伸張法と、対照群として皮膚を伸張せずに貼付する方法（皮膚非伸張法、以下非伸張法と略記）を用いて比較を行うこととした。腰部血流と皮膚温はキネシオテープ貼付前、貼付直後、貼付24時間後に計測を行った。脊椎骨棘突起及び腰筋の圧痛検査はキネシオテープ貼付前及び貼付24時間後に検査を行った。血流量、血液量、皮膚温では、貼付前の値を100%として算出し貼付直後、貼付24時間後について2要因分散分析にて検討した。脊椎骨棘突起及び腰筋圧痛検査では、貼付前、貼付24時間後においての圧痛強度、圧痛スケールについて2要因分散分析にて検討した。なお、統計解析ソフトにはIBM社SPSSver.20.0を用い、5%未満を有意とした。

【結　果】

血流量においては、2種類の貼付方法双方に、貼付前と貼付直後、貼付前と貼付24時間後において有意な血流量の増加が認められた。

血液量においては、伸張法では貼付前と貼付直後、貼付前と貼付24時間後において有意な血液量の増加が認められた。非伸張法では、貼付前と貼付24時間後においてのみ有意な血液量の増加が認められた。また、貼付24時間後において、2種類の貼付方法に有意な差が認められ、伸張法が非伸張法に比べて、有意に高い血液量を示した。

脊椎骨棘突起圧痛検査においては、伸張法では第9、10、12胸椎、第1、5腰椎及び仙骨において圧痛強度の有意な低下が認められた。一方で、非伸張法では第3、9、10胸椎において圧痛強度の有意な上昇が認められた。

腰筋圧痛検査では、伸張法において左右の腸肋筋起始部での圧痛検査で有意な圧痛スケールの低下が認められたが、非伸張法では有意な差は認められなかった。

皮膚温では、非伸張法において貼付前と貼付直後、貼付前と貼付24時間後に有意な皮膚温の低下が示された。

【考　察】

キネシオテープの2種類の貼付方法では、双方で血流量及び血液量が有意に上昇するが、伸張法は非伸張法に比べて有意に血液量が高くなることが示された。血流量及び血液量の測定結果から、伸張法において血管の幅がより大きくなったために血液量が増加したのではないかと考えられた。

脊椎骨棘突起圧痛及び腰筋圧痛検査の結果では、伸張法でのみ圧痛強度及び圧痛スケールの減少が認められ、血流量、血液量の増加が圧痛の減少につながったと考えられた。

皮膚温では、非伸張法においてのみ有意な皮膚温の低下が認められ、伸張法では皮膚温の低下が認められなかったことから、血流の増加により皮膚温が保たれたのでないかと考えられた。

【結　論】

以上から、腰部へのキネシオテープ貼付は腰部血流の上昇を促すことが分かった。また、血流量、血液量、脊椎骨棘突起圧痛検査、腰筋圧痛検査、皮膚温の測定結果から検討すると、伸張法は非伸張法に比べて、キネシオテープのより大きな効果を得るために有用であると結論できる。

【文　献】

1）小山内博、佐野裕司(1979)腰痛症と頸肩腕症候群の発生要因，診断，治療，予防に関する研究、労働科学55(2)：83-100
2）加瀬建造(2010)Dr. 加瀬セラピー 軟部損傷アプローチ，科学新聞社、東京：44-45
3）佐野裕司、片岡幸雄(1997)腰筋の主観的圧痛強度の評価スケールに関する検討－4段階法の評価と10点法の評価との関係－、柔道整復・接骨医学6(1)：21-25

（本抄録は第18回大会発表抄録から抜粋しました。発表者掲載確認済み）

学生発表コンペ実施要領

本学会学生会員及び一般学生を対象に「発表コンペ」を行います。発表の中から奨励賞を選出し、表彰します。

1．演題申込資格

演者は大学（大学院を含む）、短大及び専門学校に在籍している学生です。原則、指導教員 1 名のみ共同研究者として記載できます。演者は年会費、学会参加費が無料です。共同研究者の指導教員は大会参加費が必要です。指導教員が本学会会員の場合は、前記の「大会参加の申込登録の方法」に従って参加費を納入下さい。本学会員以外の場合は、大会当日に「臨時会員」として受付にて参加費 7,000 円をお支払いください。

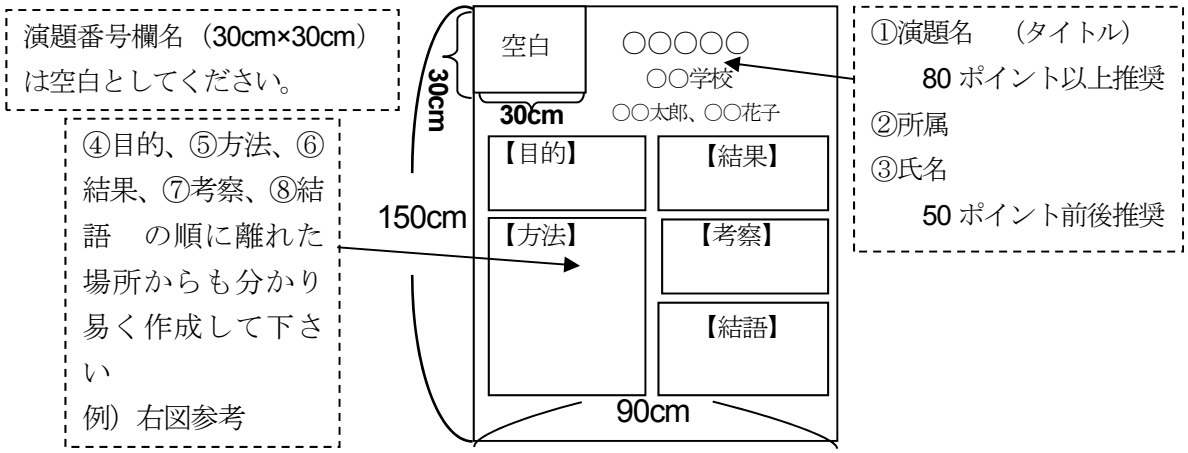
2．発表領域は、「一般発表」の領域に準じます。

3．発表時間及び発表形式

1）口頭発表は発表時間 8 分、質疑応答時間 2 分の計 10 分の予定です。パワーポイントを使用した液晶プロジェクターによる一面映写を原則とします。液晶プロジェクターの操作は発表者の責任において行って下さい。また発表時間を厳守して下さい。

2）ポスターは、学会 2 日目の 9:20 までに指定された場所に掲示してください。指定された発表時間中はポスターの前に立ち、質疑応答を行ってください。ポスターは以下に準じて作成してください。

①演題名（タイトル）、②所属、③氏名、④目的（はじめに）、⑤方法、⑥結果、⑦考察、⑧結語（まとめ）など下記を例に作成して下さい。ポスターの大きさは、縦 150cm×横 90cm です。大判プリンタを使用しない場合も以下の図を参考に縦 150cm×横 90cm の範囲内でレイアウトして下さい。



4．申込方法と書類（重要）

発表者は大会実行委員会事務局までご連絡下さい。参加申込書をお送りいたしますので、必要事項を記入し、**9 月 3 日**までに大会実行委員会事務局に郵送して下さい（E-mail による添付ファイル可）。

5．表彰　　口頭発表、ポスター発表それぞれ、最優秀奨励賞各 1 名（賞状、額及び QUO カード）、奨励賞若干名（賞状と額）を表彰いたします。

6．大会実行委員会事務局

〒275-8576　千葉県習志野市新栄 2-11-1　日本大学生産工学部　教養・基礎科学系　菊地俊紀
E-mail: Kikuchi.toshiki@nihon-u.ac.jp

第20回　日本スポーツ整復療法学会大会　学生発表コンペ参加申込書

平成　　年　　月　　日申込

<table>
<tr><td>和文演題</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>英文
タイトル</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="4">Key words（5個以内）</td></tr>
<tr><td colspan="4">該当する発表分野に〇印を付けて下さい。
a)整復療法　b)整復工学　c)スポーツ療法学　d)原理・倫理　e)評価　f)その他</td></tr>
<tr><td></td><td>氏名（下段ローマ字）</td><td colspan="2">住所・電話・Fax：(E-mail)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">演者</td><td></td><td rowspan="2">〒　　-

E-mail：
電話：　　-　　-　　Fax：　　-　　-</td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">指導教員</td><td></td><td rowspan="2">〒　　-

E-mail：
電話：　　-　　-　　Fax：　　-　　-</td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">所属校</td><td colspan="3">名　称：</td></tr>
<tr><td colspan="3">住　所：〒　　-</td></tr>
<tr><td colspan="4">発表の概要を400字程度記入してください。学会大会号に掲載します。</td></tr>
</table>

平成30年8月吉日

第20回日本スポーツ整復療法学会大会へのご支援のお願い

日本スポーツ整復療法学会
会　長　増原　光彦　（印略）
第20回学会大会
大会長　佐竹　弘靖　（印略）

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、ご依頼させて頂きました日本スポーツ整復療法学会は、スポーツ系（体育、アスレチックトレーナー）、柔道整復師、鍼灸師やその他医療職を対象とした学会です。これまでに19回の学会大会を開催し、多くの基礎研究や臨床研究発表を行ってまいりましたが、その度に企業あるいはご協力者の方々に大会号での広告掲載あるいは学会開催中の機器展示等の形でご支援を得て参りました。

本年は節目の20回目にあたり、「2020年東京オリンピック・パラリンピック」を共通テーマとして、東京海洋大学品川キャンパスにて開催することになりました。本大会におきましても多くの方々のご協力を仰ぎたく、別紙の通りご案内させていただきました。

つきましては、この機会に是非、大会号への広告掲載、学会会場での機器（製品）展示等にご協力をお願い申し上げます。

末筆ながら貴社のますますのご発展を祈念いたしますとともに、今後とも本学会への多大なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第20回日本スポーツ整復療法学会
共通テーマ「2020年 東京オリンピック・パラリンピック」
平成30年10月20日（土）・21日（日）
東京海洋大学品川キャンパス 白鷹館（〒108-8477 東京都港区港南4-5-7）

第20回日本スポーツ整復療法学会大会
展示、広告掲載、賛助会員および研究助成基金寄付金申込

記

１．展示

展示区画　　１区画：約縦1.5m×横2.0m

展示料　　１区画：３万円（２日間）

その他：機器の電源は100Vに限る。延長コードが必要な場合があります。

展示当日、パンフレット配布、体験等が自由です（来場人数約150名）

２．大会号広告掲載

広告掲載料　　・A4で１ページ　　３万円

・同　２分の１ペー　　２万円

・同　４分の１ページ　　１万円

３．賛助会員　　年会費　8,000円　（新規入会の場合は入会金 2,000円を加えてください）

４．研究助成基金寄付金（本学会の研究活動基金への寄付金として）　・一口8,000円（何口でも可）

５．申込方法　・方　法　別紙の申込書にご記入の上、FAXでご送付下さい。

なお広告掲載申込みのご希望の場合は「広告の原版」をご送付下さい。

・締　切　随時(ご指定の号あるいは大会の予定により調整、お問い合わせ下さい)

・宛　先　〒263-8522　千葉市稲毛区萩台町664-83　村松成司

「日本スポーツ整復療法学会事務局」宛

TEL/FAX：043-254-8311　E-mail:mshigeji@faculty.chiba-u.jp

６．送金方法

・締　切　ご指定の号あるいは大会の指定による

・振込先　郵便振込口座番号：00110－4－98475

郵便振込口座名義：日本スポーツ整復療法学会

注）お申し込みいただきましたら、ご指定のメールアドレスへ申込受理のお知らせをいたします。その後、大会実行委員より搬入等の打合せのお電話をさせて頂きます。問い合わせ先はFAXまたはE-mailでお願い致します。

本学会におきましては、従来、新規に広告および展示をご希望の場合には原則として賛助会員に入会して頂くことになっております。しかしながら、今学会では賛助会員としての御入会がなくても、広告および展示参加ができるようになりました。これまで以上に多くの広告・展示によるご協力が得られますよう、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

なお、本会の趣旨に賛同され、賛助会員としてご支援、ご協力をいただける場合には広告、展示の依頼に関係なく賛助会員として受け付けさせていただきます。よろしくお願いします。

第20回日本スポーツ整復療法学会大会
展示、広告掲載、賛助会員および研究助成基金寄付金申込書

平成　　年　　月　　日

日本スポーツ整復療法学会における展示料、広告掲載料、賛助会員年会費（入会金）及び研究助成基金寄付金として下記の金額を送金します。

1. 会社・団体名：

2. 所　在　地：〒

3. 電　話／Fax　：　　電話　　／ Fax

4. E-mail　　：

5. 代 表 者 名 ：　　印

6. 担 当 者 名 ：　　（担当者電話　　）

記

1. 金　　額

展示料	１区画３万円、２区画５万円 他		区画	円
広告掲載料	A4　1ページ	30,000円	件	円
	同　2分の1ページ	20,000円	件	円
	同　4分の1ページ	10,000円	件	円
賛助会員	入会金（新規の場合）	2,000円	件	円
	年会費	8,000円	件	円
研究助成金寄付金	１口	8,000円	口	円
			↑　総計	円

該当する部分にのみ数字を記入下さい

2. 振込予定日　　平成　　年　　月　　日

FAX 番号　043-254-8311（日本スポーツ整復療法学会事務局）

次期役員･評議員選挙について

選挙管理委員会
委員長　今井裕之
委　員　藤本浩一
委　員　片岡裕恵

次期(2019年４月１日から2022年３月31日まで)の役員および評議員の選挙について公示します。2018年第１回理事会において、選挙管理委員会、選挙細則が下記のように承認されました。

1･ 選挙管理委員会の設置

理事会において今井裕之会員が選挙管理委員会委員長に推薦され、承認された。また、後日、藤本浩一会員、片岡裕恵会員が推薦され、会長より任命された。以下の３名により選挙管理委員会を設置した。

委員長　今井裕之(埼玉県)　委員　藤本浩一(東京都)　委員　片岡裕恵(東京都)

2, 選挙細則

役員　(定款12条)　役員は立候補により正会員の中から選出する

(定款11条)　理事は20名以内、監事は２名とする

(細則６条)選挙権ならびに被選挙権は連続３年以上の正会員の活動歴があること、また選挙年度の７月31日までに会費を納入した正会員とする

(細則８条)　地区の理事定数は選挙権を有する会員数により比例配分する

(細則13条)定数以内の場合は無投票当選、定数を超えた場合は委員会が選挙する。

評議員.(定款17条)　評議員数は50名以内とする

(定款18条)全国８地区の会員比例配分数を投票により選出する

地区別の正会員名簿を送付し各地区割り定数を投票させる。投票方法はその名簿に候補者数だけ〇をつける。ただし定数を超えて〇をつけた場合は無効とする。同数の場合は選挙管理委員会で抽選決定する。

(細則６条)選挙権ならびに被選挙権は連続３年以上の正会員の活動歴があること、また選挙年度の７月31日までに会費を納入した正会員とする

3, 選挙日程(概略)

2018年８月末　　役員立候補受付締切
2018年９月初旬　評議員選挙依頼（役員決定通知）郵送
2018年９月中旬　評議員選挙締切・開票・承諾確認
2018年10月下旬　第20回学会大会総会で承認

4･ 手順

役員　理事および監事の立候補を下記の要領で受け付けます。

応募用紙はメイル添付用紙を用いるか、あるいは選挙管理委員会宛てにご請求ください。

HP(　https://jsspot.info/　)でも入手可能にします。

(以下の連絡方法で)　Fax: 043-254-8311、携帯：090-8858-5697(村松)

E-mail: mshigeji_1122@yahoo.co.jp

受付締切:８月31日(金)正午迄学会事務局「選挙管理委員会」宛(上記)にFaxあるいはメイル添付して送信ください。受け取り次第、事務局より確認メイルを差し上げますのでよろしくお願いします。

日本スポーツ整復療法学会定款

平成 11 年 5 月 1 日施行
平成 12 年 10 月 30 日改訂
平成 15 年 10 月 18 日改訂
平成 19 年 10 月 21 日改訂

第1章　総則

第１条　本会は日本スポーツ整復療法学会という。英文名を The Japanese Society of Sport Sciences and Osteopathic Therapy(略称 JSSPOT)とする。

第2条　本会は事務局を理事長の所在地に置く。

第3条　本会は評議員会の審議を経て理事会および総会の議決により支部を置く。

第2章　目的および事業

第4条　本会はスポーツ医科学、柔道整復学および関連諸科学に関する学際的研究とそれらの情報交換を行い、スポーツ整復療法学の構築ならびにその発展を図ることを目的とする。

第5条　本会は目的を達成するために次の事業を行う。

1)研究発表会ならびに学術講演会等の開催
2)学会誌ならびに学術図書等の刊行
3)内外の関連学会との交流
4)その他目的を達成するための必要な事業

第3章　会員

第6条　本会の会員は次のとおりとする。

1)正会員社会人であってスポーツ整復療法に学問的関心を持つ個人
2)学生会員学生であってスポーツ整復療法に学問的関心を持つ個人
3)賛助会員本会の事業に賛助する法人
4)講読会員スポーツ整復療法学研究の講読のみを希望する個人および法人

第7条　本会に正会員として入会しようとする者は正会員１名の推薦を得て会長宛に入会申込書を提出し理事会の承認を得ることとする。但し、学生会員の入会は正会員１名の推薦でよいものとする。

第8条　会員は以下に定めた入会金および年会費の支払いを義務とする。

入会金	1)正会員	2000 円
	2)学生会員	0 円
	3)賛助会員	2000 円
	4)講読会員	0 円
年会費	1)正会員	8000 円
	2)学生会員	5000 円
	3)賛助会員　一口	8000 円(何口でも可)
	4)講読会員	8000 円

第9条　会員が退会しようとするときは、退会届を会長宛に提出しなければならない。

第10条　会員が次の各項に該当するときは会長は理事会の議決を経て除名することができる。

1)本会の名誉を著しく傷つけ本会の目的に違反する行為があったとき

2)本会の会員としての義務を怠ったとき

第4章　役員、評議員、顧問および相談役

「役員」

第11条　本会に次の役員を置く。

1)会長1名、副会長2名、理事長1名および理事を含め20名以内

2)監事2名

3)上記の役員の他、会長は若干の役員を指名することができる。

第12条　役員の選出および承認は下記のとおりとする。

1)役員は立候補により正会員の中から選出する。

2)会長、副会長および理事長は理事の中から互選し総会で承認されなければならない。

3)選出細則は別に定める。

第13条　役員の業務は下記のとおりとする。

1)会長は本会の業務を総理し本会を代表する。

2)副会長は会長を補佐し会長が欠けたときその職務を代行する。

3)理事長は理事会を代表する。

4)理事は理事会を組織し、本会の定款に定められた事項等を議決し執行する。

5)監事は本会の業務および財産管理の業務の監査を行う。

第14条　役員の任期は3年とし再選を妨げない。役員の退任に伴う後任役員の任期は現任者の残任期間とする

第15条　役員が下記の項目に該当するとき、理事会の4分の3以上の議決によりこれを解任することができる。

1)心身の故障のため職務の執行に耐えられないと認められるとき

2)役員としてふさわしくないと認められるとき

第16条　役員は無給とする。

「評議員」

第17条　本会に評議員50名以内を置く。

第18条　評議員は北海道地区、東北地区、関東地区、北信越地区、東海地区、関西地区、中国・四国地区および九州地区から比例配分数を投票により選出し総会で承認する。なお選出細則は別に定める。

第19条　評議員は評議員会を組織し、本会の定款に定める事項の他、理事会の諮問に応じ審議し助言する。

第20条　評議員は第14条、第15条および第16条を準用する。

「顧問および相談役」

第21条　本会に顧問および相談役を置くことができる。理事会の議決を経て会長が委嘱する。

第5章　会議

「理事会」

第22条　理事会は毎年2回会長が召集する。但し理事の3分の1以上から開催を請求されたとき、または理事長が必要と認めたときはこの限りでない。理事会の議長は理事長とする。

2)理事会は定数の3分の2以上の出席がなければ開催し議決することはできない。ただし委任状をもって

出席とみなす。

3)議決は出席者の過半数とし、可否同数のときは議長が決定する。

第23条　理事会は各種委員会を設置することができる。

「評議員会」

第24条　評議員会は毎年1回会長が召集する。但し会長が必要と認めたときはこの限りでない。評議員会の議長は評議員の互選とする。

2)評議員会は定数の2分の1以上の出席がなければ開催し議決することはできない。但し委任状をもって出席とみなす。

3)議決は出席者の過半数とし、可否同数のときは議長が決定する。

「総会」

第25条　総会は正会員で構成し、毎年1回会長が召集する。但し正会員の3分の1以上から開催を請求されたときまたは会長が必要と認めたときはこの限りでない。総会の議長は正会員の互選とする。

2)総会は定数の10分の1以上の出席がなければ開催し議決することはできない。但し委任状をもって出席とみなす。

3)議決は出席者の過半数とし、可否同数のときは議長が決定する。

第26条　総会は次の事項を議決する。

1)事業計画および収支予算

2)事業報告および収支決算

3)財産目録および貸借対照表

4)その他必要事項

第6章　資産および会計

第27条　本会の資産は次のとおりとする。

1)入会金および年会費

2)寄付金

3)その他の収入

第28条　本会の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第7章　定款の変更

第29条　本会の定款の変更は評議員会の審議を経て、理事会および総会のそれぞれ4分の3以上の議決を経なければならない。

第8章　補足

第30条　本会の定款の施行細則は評議員会の審議を経て理事会および総会の議決を経なければならない。

付　則

第4章の規定にかかわらず、本会の設立当初の役員および評議員の任期は平成13年3月31日までとする。本会の定款は平成11年5月1日より施行する。

役員の選出に関する細則

（目的）

第１条　この細則は日本スポーツ整復療法学会定款第4章第12条に規定する役員の選出につき必要な事項を定めるものである。

（選挙管理委員会）

第２条　役員候補者選挙の実施にあたり、選挙管理委員会（以下、委員会）を置く。

第３条　委員長は正会員の中から会長が委嘱する。

第４条　委員会の構成は委員長1名と委員若干名とし、委員は委員長が推薦し、会長が委嘱する。

（選挙権及び被選挙権）

第５条　選挙権有資格者は、選挙が行われる前年度の 7 月 31 日現在で本学会に所属し、且つ選挙の前年度から連続して2年以上年会費を完納している正会員とする。

第６条　被選挙権有資格者は、本学会の正会員として連続3年以上の活動歴があり、かつ選挙が行われる年度の**7**月 31 日までに連続して3年以上年会費を完納している正会員とする。

（選出方法）

第７条　1)理事は、日本スポーツ整復療法学会定款第 12 条の規定により立候補により正会員の中から選出する。

2)前項に定めるものの他、会長は定款第 11 条第 3 項の規定により、若干の役員を指名することができる。

（役員定数）

第８条　理事定数は、定款 11 条の規定により 20 名以内とする。

委員会は、８地区（北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、中四国および九州）の選挙権を有する会員数から理事定数を定め、公示する。

第９条　監事は、評議員定数の選挙区上位 2 選挙区から各 1 名ずつ会長が指名する

（選挙の公示）

第１０条　役員候補者選挙に関する公示は、選挙が行われる年度の**6**月に行うものとする。

（立候補及び開票）

第１１条　立候補は、委員会が発行する立候補用紙を用いて郵送で行う。不正な立候補投票用紙による立候補は無効とする。

第１２条　開票は、委員会により投票終了後速やかに行われなければならない。

（役員候補者の決定）

第１３条　役員候補者の当選の決定に当たっては、第８条に定める８選挙区ごとの役員定数に応じ、立候補者が各地区定数内の場合無投票当選とし、**定数**を超えた場合、委員会は当該地区において選挙を行う。

第１４条　得票数が同数の場合は、委員長が行う籤引きによって当選者を決定する。

第１５条　当選者が辞退又は資格を喪失したときは、当該選挙区の得票数の次順位の者を繰り上げ、当選者とする。

第１６条　委員長は、投票結果に基づき、開票終了後速やかに役員候補者当選者を理事会に報告する。

（付則）

１．この細則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

評議員選出に関する細則（案）

（目的）

第１条　この細則は、日本スポーツ整復療法学会定款第 4 章第 18 条に規定する評議員の選出に必要な事項を定めるものである。

（選挙管理委員会）

第２条　評議員候補者選挙の実施にあたり、選挙管理委員会（以下、委員会）を置く。

第３条　委員長は正会員の中から会長が委嘱する。

第４条　委員会の構成は委員長 1 名と委員若干名とし、委員は委員長が推薦し会長が委嘱する。

（選挙権及び被選挙権）

第５条　選挙権有資格者は、選挙が行われる年度の 7 月 31 日現在で本学会に所属し、且つ前年度から連続して年会費を完納している正会員とする。

第６条　被選挙権有資格者は、本学会で正会員として連続 3 年以上の活動歴があり、且つ選挙が行われる年度の 7 月 31 日までに当該年度を含め連続 3 年以上年会費を完納している正会員とする。

（選出方法）

第７条　評議員は、日本スポーツ整復療法学会定款第 4 章第 18 条に規定する地区（以下、選挙区）ごとに、第５条で定める選挙人が選出する。

（役員定数）

第８条　評議員定数は、各選挙区の第５条に規定する選挙権を有する正会員数に基づく比例配分で決定する。

（選挙の公示）

第９条　評議員候補者選挙に関する公示は、選挙が行われる年度の 6 月に行うものとする。

（投票及び開票）

第１０条　投票は、無記名で各選挙区の定数以内連記とし、郵送で行う。候補者名簿への不掲載者に対する投票、定数を超える投票及び不正な投票用紙による投票は無効とする。

第１１条　開票は、委員会により投票終了後速やかに行われなければならない。

（評議員候補者の決定）

第１２条　評議員候補者の当選の決定に当たっては、第８条に定める選挙区ごとの評議員定数に応じ、得票数の多い者から順次当選とする。

第１３条　得票数が同数の場合は、委員長が行う籤引きによって当選者を決定する。

第１４条　当選者が辞退又は資格を喪失したときは、当該選挙区の得票数の次順位の者を繰り上げ、当選者とする。

第１５条　委員長は、投票結果に基づき、開票終了後速やかに評議員候補者当選者を理事会に報告する。

（付則）

１．この細則は、平成30年４月１日から施行する。

「スポーツ整復療法学研究」寄稿規約

1. スポーツ整復療法学研究は、日本スポーツ整復療法学会の機関誌で、「総説」「原著論文」「症例研究」「研究資料」「活動報告」「教育講座」「学会通信」「会員動向」等を掲載する。
2. 本誌への寄稿は原則として、共著者を含めて日本スポーツ整復療法学会正会員に限る。内容はスポーツ整復療法学の研究領域における「総説」「原著論文」「症例研究」「研究資料」および「活動報告」で、未発表で完結したものに限る。
3. 論文等を寄稿する際は「執筆要領」に従って作成する。
4. 「総説」「原著論文」「症例研究」「研究資料」および「活動報告」の掲載に際し、その採否、修正の要求、掲載順位の指定および校正(初校は著者)などは編集委員会が行い、編集委員長名で著者に連絡する。
5. 投稿する場合は**別紙投稿申請書に必要事項を記入の上、原稿送付前にメイル添付ファイルか、FAX で送付してください。**投稿原稿は書留便で、封筒の表に「スポーツ整復療法学研究投稿原稿」と朱書し、オリジナル 1 部とコピー2部(図表を含む)を学会事務局宛に送る。掲載が決定した後に、最終原稿を入力した記録媒体（USB もしくは CD）を提出する。ファイルはワード、一太郎、TXT 形式のいずれかと、PDFファイルの 2 種類とする。提出原稿および記録媒体等は原則として返却しない。
6. 寄稿に際し、「総説」「原著論文」および「症例研究」は１万円、「活動報告」および「研究資料」は５千円を審査料として学会事務局の郵便振込口座に振り込み、振込用紙のコピーを同封する。振込用紙には必ず内訳を記入する。
7. 別刷は 30 部までを無料とし、それ以上は著者の負担とする。

論文等投稿時には特に以下のことを確認願います。

①論文審査申込書の送付	用紙は機関誌または HP から入手可能。 審査種別、学会員資格（共同研究者全員）、所属、連絡先など必要事項を記入すること。Fax もしくは添付ファイルで事務局へ送付。
②論文審査料の振込 （ゆうちょ振替）	振込証明書のコピーを作成。振込証明書のオリジナルは投稿者保存、そのコピーを③の原稿とともに事務局へ送付。
③原稿(図表を含む)の送付	原稿は原則 3 部作成し、②のコピーを同封して事務局へ送付。しかし、今後作業の効率化のためメイルの添付ファイルによる投稿に移行することも検討しており、現在試行期間としてどちらも対応している。②はスキャンして添付。
	①②③を確認して、論文審査に入る。

「執筆要領」

A「総説」「原著論文」「症例研究」および「研究資料」

1. 「総説」「原著論文」「症例研究」および「研究資料」は図表を含めて刷り上がり 8 ページ以内を原則とする。超過したページについては著者負担とする(料金は別に定める)。
2. 原稿は必ずワードプロセッサーを用いて、新かな使い、常用漢字を用いて、A4 版用紙に横書き印刷する。
3. 外国語言語は欧文フォントを使用する。ただし、日本語化した語はカタカナ標記(全角)を使用してもよい。数字は算用数字、単位符号は原則として CGS 単位を用い、mm, sec, cm, ml, μg などとする。圧の単位は mmHg を用いてもよい。
4. 図(写真)表は必要最低限にとどめ、A4 版用紙に各 1 枚に収載し、番号(例:Table.1, Fig.1、または表 1、図 1)とタイトルを付け、且つ英文併記が望ましい。図(写真)表の挿入場所を本文原稿の余白に朱書きする。なお、製版が不適当と認められる図表は書き変えることがある。その際の実費は著者負担とする。
5. 和文論文原稿の形式は以下の順に従う。
   a) 原稿の第 1 ページに「表題」「著者名」「所属名」「キーワード 5 個以内」「原稿の種類」「別刷請求部数」「連絡先:住所、氏名、電話 FAX 番号、E-mai1」等を記載する。
   b) 本文は目的(緒言)、方法、結果、考察、結論、引用文献および図表(写真)の順とし、印刷は「10 ポイント、23 文字 X38 行の 2 段組み、総文字数 1748 字」程度で行う。改行は冒頭 1 字を下げる。
6. 和文原稿には英文のタイトル、著者名、所属名、キーワードを必ずつける。また、英文抄録(400 語以内)をつけることが望ましい。英文は専門家のチェックを必ず受けること。
7. 英文原稿には原則として、上記に準じ、和文抄録をつける。
8. 引用文献は主要なものに限り 30 編以内とする(総説の場合は制限なし)。文献は本文の引用順に引用番号を付し(半角片カッコ内に半角数字で記入する。例:片岡ら 1)によれば・・)、引用番号順に記載する。
   a)雑誌の場合は、全著者名、年号、表題、雑誌名、巻数、頁一頁の順に記す。
      1) 佐野裕司、白石聖、片岡幸雄(1998)背側筋群の強化を目的とした体幹筋運動が腰筋の圧痛に及ぼす効果、柔道整復・接骨医学 7(1):3-12
      2) Kataoka,K., Sano,Y., Imano,H., Tokioka,J. and Akutsu,K. (1993) Changes in blood pressure during walking in the elderly persons with hypertension, Chiba Journal of Physical Education.17:33-38
   b)単行本は全著者名、発行年、標題、書名、編集者名、版数、発行所、発行地、引用頁の順に記す。
      1) 熊谷秋三:誤った運動法(1993)健康と運動の科学、九州大学編、初版、大修館書店、東京:209-211
      2) Expert Committee of Health Statistics (1995) Report of the Second Session, WHO Technical Report Series, 25

B「活動報告」

図表写真を含め 2 ページ(400 字原稿用紙 8 枚)以内を原則とし、上記の執筆要領に準じて作成する。

「スポーツ整復療法学研究」論文投稿確認書

・申込はこの用紙をコピーして必要事項を記入の上、事務局へFAXもしくは添付ファイルで転送して下さい

投稿年月日（西暦）　　年　　月　　日（投稿者記入）

論文タイトル（日本語）	
論文タイトル（英　語）	
審査種別	総説 ・ 原著論文 ・ 症例研究 ・ 研究資料 ・ 活動報告 ・ その他（　　）
分　野（審査希望分野）	a)整復療法　b)整復工学　c)スポーツ療法学　d)原理・倫理　e)評価 f)その他（　　）

審査種別、分野は該当する項目を○で囲んでください。その他は自由にお書きください。

投稿者氏名		会員確認（該当項目に○を付ける） ・会員　・入会手続き中	
所　　属			
連絡先（資料送付先）	〒		
	電　話	FAX	
	E-mail		

共同研究者（不足の場合は別紙に書き加えて下さい）	氏名	所属	会員確認
			・会員　・入会手続き中
			・会員　・入会手続き中
			・会員　・入会手続き中
			・会員　・入会手続き中
			・会員　・入会手続き中
			・会員　・入会手続き中

別刷部数	部　（３０部までは無料、学会負担）
送付資料確認	・原稿３部（コピー可） ・投稿料振込確認（コピー可） ・その他、同封した物があれば記入下さい。

この用紙はHPよりダウンロードできます。

「日本スポーツ整復療法学会」個人会員入会申請用紙

・申込はこの用紙をコピーして必要事項を記入の上、事務局へ転送して下さい(mail 添付または Fax)

<table>
<tr><td>申請年月日</td><td colspan="2">(西暦)　　年　　月　　日</td><td colspan="2">事務局　　FAX:043-254-8311</td></tr>
<tr><td>会員資格</td><td colspan="2">正会員　・　学生会員</td><td>都道府県名</td><td></td></tr>
<tr><td>ふりがな
氏　　名</td><td colspan="2">印</td><td colspan="2">郵便物送付先に○を付ける
自宅　　勤務先</td></tr>
<tr><td>生年月日</td><td colspan="4">(西暦)　　年　　月　　日生</td></tr>
<tr><td>勤務先名</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">勤務先住所</td><td colspan="4">〒</td></tr>
<tr><td>電　話</td><td></td><td>FAX</td><td></td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">自宅住所</td><td colspan="4">〒</td></tr>
<tr><td>電　話</td><td></td><td>FAX</td><td></td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>職業分野・免許
○印を付ける</td><td colspan="4">柔道整復師　鍼師　灸師　マッサージ師　理学療法士　カイロプラクター
大学教師　専門学校教師　医師　大学院生　学部生　専門学校生
その他(　　)</td></tr>
<tr><td>所属職能団体
○印を付ける</td><td colspan="4">日整　JB　NSK　全国柔整師会　医師会　JATAC　大学　学生
専門学校生　研究所　その他(　　)</td></tr>
<tr><td>所属学会</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>学　歴</td><td colspan="4">高　校:　　大学:
専門学校等:</td></tr>
<tr><td>推薦者会員名</td><td colspan="2">印</td><td>都道府県名</td><td></td></tr>
</table>

※(正会員・学生会員ともに、申請時は推薦者として正会員1名の推薦が必要)

正会員:入会金 2,000 円、年会費　8,000 円　　学生会員:入会金 0 円、年会費 5,000 円

下記にお振込下さい。

郵便振替番号:00110-4-98475　　口座名義:日本スポーツ整復療法学会

共同研究プロジェクト制度

1)趣旨

本学会におけるスポーツ整復療法学に関連する学際的研究を一層促進するために、会員相互が研究費を供出し共同研究を促進することを目的とし、学会認定「共同研究プロジェクト制度」を発足させる。

2)計画・立案

共同研究プロジェクト委員会は、申請された研究課題の中から本学会に相応しい研究課題を1年間当たり数編以内を設定する。決定後、課題名と研究責任者を学会誌に掲載し共同研究者を募集する。

3)参加形態

本研究プロジェクトに参加を希望する会員は、提案された研究プロジェクトに1課題当たり5万円の研究費を供出する。1課題当たりの共同研究者数は略10名以内とする。

4)研究期間および成果報告

研究期間は、原則2年間とし、研究責任者とその共同研究者はその成果を本学会大会において発表すること並びに原著論文として機関誌に投稿することを原則とする。編集委員会は、その成果を所定の審査の後、優先的に掲載する。

5)申し込み

共同研究への申し込は、所定の用紙を用いて学会事務局宛申し込むこと。

共同研究プロジェクト参加申込書（本誌綴じ込みもしくはHPより入手してください）

6)「共同研究プロジェクト委員会」

委員会は、会長、副会長、理事長、事務局長、編集委員長、学術研修委員長をもって構成する。

7)事務経費

共同研究プロジェクトを支援するために、事務費として研究責任者へ1課題当たり10万円を供出する（第6回総会承認）。

第　　回共同研究プロジェクト参加申込書

日本スポーツ整復療法学会　殿

私は、下記の共同研究プロジェクトに参加することを希望します。

研究課題＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

研究責任者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

参加希望者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

申請年月日（西暦）　　年　　月　　日

住所　〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話／FAX

E-mail

年齢　満　　歳　　性別　男　女

研究歴

研究費振込票のコピーを貼付してください

日本スポーツ整復療法学会専門分科会

人体に対する整復療法術の基本を人体各部位別療法と全身的療法との有機的連携の視点にたち人間の総合的回復を目的とする学際的研究の確立を目的として、下記の研究部会が設立しております。各会員少なくとも1つ以上の部会に登録し、活発な活動を行うことを期待します。なお部会の登録数はいくつでも良いが、部会毎に通信費等がかかります。

1.研究部会

A.部位別研究部会

1) スポーツ・ショルダー部会

2) スポーツ・エルボー部会

3) スポーツ・リスト部会

4) スポーツ・バッケイク部会

5) スポーツ・ニー部会

6) スポーツ・ポダイアトリー部会

7) スポーツ・カイロ部会

B.基礎研究部会

1) スポーツ整復工学部会

2) スポーツ療法科学部会

3) スポーツ社会心理療法学部会

4) アスレチックトレーナー実践学部会

5) スポーツ栄養学部会

2.活動内容

1) 学術大会においてシンポジウムを開催する。

2) 学術大会における一般発表および共同研究発表を促進する。

3) 研究部会に関連した研修会、講演会を開催する。（開催に際しては必ず学会事務局に連絡のこと）

4) 内外の関連学会との連携および情報の収集を促進する。

5) その他、研究部会に関連する事項である。

3.会費

1) 各部会は通信費として1人あたり年間1000円程度を徴収する。研修会等における会費は別途徴収する。

4,登録方法

1) 登録用紙に必要事項を記入の上、部会長に提出する。

2) 登録用紙は本誌綴じ込みもしくはHPより入手してください。

日本スポーツ整復療法学会　専門分科会部会長

人体に対する整復療法術の基本を人体各部位別療法と全身的療法との有機的連携の視点にたち人間の総合的回復を目的とする学際的研究の確立を目的として、下記の研究部会が設立しております。各会員少なくとも１つ以上の部会に登録し、活発な活動を行うことを期待します。なお部会の登録数は幾つでも良いが、部会毎に通信費等がかかります。

1.研究部会

A.部位別研究部会

1)スポーツ・ショルダー部会	部会長:田邊美彦 タナベ整骨院	〒563-0032 池田市石橋 2-14-11 TEL 072-761-5084　FAX 072-761-5084
2)スポーツ・エルボー部会	部会長:渋谷権司 渋谷接骨院	〒196-0025 東京都昭島市朝日町 5-7-36 TEL 042-543-0984　shibuya@river.sannet.ne.jp
3)スポーツ・リスト部会	部会長:岩本芳照 岩本接骨院	〒651-2117 神戸市西区北別府 2-2-3 TEL&FAX:078-974-7555　yiwamoto@osk3.3web.ne.jp
4)スポーツ・バッケイク部会	部会長:西條義明 墨坂整骨院	〒382-0098 須坂市墨坂南 2-8-35 TEL&FAX:026-248-3163 sumisakaseikotuin@stvnet.home.ne.jp
5)スポーツ・ニー部会	部会長:草場義昭 草場整骨院	〒838-0128 福岡県小郡市稲吉 1372-1 TEL: 0942-72-9382　FAX:0942-73-0333 yoshiaki@mocha.ocn.ne.jp
6)スポーツ・ポダイアトリー部会	部会長:入澤　正 初石接骨院	〒270-0121 千葉県流山市西初石 4-474-1 TEL:0471-54-1503　FAX:0471-54-1503 irisawa@rnaple.ocn.ne.jp
7)スポーツ・カイロ部会	部会長:	

B.基礎研究部会

1)スポーツ整復工学部会	部会長:岡本武昌 明治国際医療大学	〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL: 0771-72-1181 FAX:06-6647-5578 t_okamoto@meiji-u.ac.jp
2)スポーツ療法科学部会	部会長:片岡幸雄 大阪人間科学大学	〒566-8501　大阪府摂津市正雀 1-4-1 TEL：06-6381-3000（代表） E-mai1: itsu-tenrin@nifty.com
3)スポーツ社会心理療法学部会	部会長:	
4)アスレチックトレーナー実践学部会	部会長: 原　和正 原整骨院	〒381-0083 長野県長野市西三才 1367-3 TEL&FAX:026-295-3302 MLH31559@nifty.com
5)スポーツ栄養学部会	部会長:	

2.活動内容

1)学術大会においてシンポジウムを開催する。
2)学術大会における一般発表および共同研究発表を促進する。
3)研究部会に関連した研修会、講演会を開催する。(開催に際しては必ず学会事務局に連絡のこと)
4)内外の関連学会との連携および情報の収集を促進する。
5)その他、研究部会に関連する事項である。

3.会費

1)各部会は通信費として１人年間 1000 円程度を徴収する。研修会等における会費は別途徴収する。

4,登録方法

1)登録用紙に必要事項を記入の上、部会長に提出する。
2)登録用紙は学会のホームページ(巻末事務局欄に掲載)より印刷することができます。

「日本スポーツ整復療法学会」専門分科会登録用紙

・申込はこの用紙をコピーして必要事項を記入の上、事務局へFAXで転送して下さい

・正会員　・学生会員　・賛助会員　　申請年月日(西暦)　　年　　月　　日

ふりがな 氏　名		印	郵便物送付先に○を付ける 自宅　　勤務先	
生年月日	(西暦)　　年　　月　　日生			
勤務先名				
勤務先住所	〒			
	電　話		FAX	
	E-mail			
自宅住所	〒			
	電　話		FAX	
	E-mail			
所属希望部会 ○印を付ける	・ショルダー（肩）部会　・エルボー（肘）部会　・リスト（手首）部会 ・バッケイク（腰痛）部会　・ニー（膝）部会　・ポダイアトリー（足病）部会 ・カイロ（脊柱）部会　・スポーツ整復工学部会　・スポーツ療法科学部会 ・スポーツ社会心理療法学部　・アスレチックトレーナー実践学部会 ・スポーツ栄養学部会			
職業分野・免許に○印を付ける	柔道整復師　鍼師　灸師　マッサージ師　理学療法士　カイロプラクター 大学教師　専門学校教師　医師　大学院生　学部生　専門学校生 その他(　　)			
所属職能団体 ○印を付ける	日整　JB　NSK　全国柔整師会　医師会　JATAC　大学　学生 専門学校生　研究所　その他(　　)			
所属学会				
学　歴	専門学校名: 大学名:			

登録年月日(西暦)　　年　　月　　日

事務局だより

1. 第20回日本スポーツ整復療法学会学術大会の案内(第2報)が掲載されています。特別講演「2020年を健康で迎えるための貯筋運動」、シンポジウム「柔道整復師の伝統と現在、未来」、20回大会実行委員会特別企画Ⅰ:「東京オリンピックに向けて－4度の五輪と怪我、そのケアー」、実技ワークショップ「2020年を健康で迎えるためにできること」、20回大会実行委員会特別企画Ⅱ:日本スポーツ整復療法学会20年の歴史」をポスター掲示などが企画されています。

2. 日本スポーツ整復療法学会の機関誌、「スポーツ整復療法学研究」への寄稿を募集しております。寄稿は、「総説」、「原著論文」、「症例研究」、「研究資料」、「活動報告」、「教育講座」、「学会通信」、「会員動向」等、様々な形があります。是非、寄稿くださるようお願いいたします。皆様の情報発信の機関誌としてご活用下さい。審査はよりよい論文等になるように見ていただくためにあるものです。いろいろ指導していただけますので、どしどしご投稿ください。査読は今後の論文づくりの助けになるとと思います。意見が異なれば討論し、適切な示唆であれば今後の研究活動の糧とする、積極的な気持ちで論文づくりを楽しんでください。

3. 年度会費納入についてのお願い

今回、振込用紙を同封させていただきましたのでご利用ください。なお、郵便局に設置してある振替用紙を用いても振込ができます。その際には振込先氏名、番号を間違えないようにご記入ください。いずれにおきましても、振込証明書等は手元に残すようにしてください。二重の振込にはくれぐれもご注意ください。なお、二重の振込みをされた場合には、過去の未納入年度あるいは新年度に充当させていただくこともありますのでご承知おきください。その旨連絡をさせていただきます。

これまで年会費未納の方がかなりおられます。2018年度年会費と合わせて遡及納入していただけますようお願いいたします。**3年以上会費未納の会員の方には学会機関誌の発送および各種案内の発送を停止しております。**是非、納入していただけますようお願いします。これまでの納入が不明の場合は事務局までお問い合わせください。ご退会される場合は本部事務局まで連絡いただけますようお願いします。(退会される場合は未納年度会費の納入をお願いいたします。)

年度会費	正会員	8,000円	(新規入会時には入会費2000円を加算する)
	学生会員	5,000円	(新規入会時の入会費不要、正会員に資格変更する際には2000円加算)
	賛助会員	8,000円	(新規入会時には入会費2000円を加算する)
	購読会員	8,000円	(新規入会時には入会費2000円を加算する)

納入先　郵便振替　日本スポーツ整復療法学会　口座番号 00110-4-98475
千葉銀行　穴川特別出張所　普通　3282277　日本スポーツ整復療法学会

4. 学会誌等が返送されてくる会員がおられます。**諸連絡、学会誌等が会員のお手元に確実に届くためにも、移動された会員の方は変更(移動)届を出していただけますようお願いします。**用紙はホームページにて入手ください。

学会ホームページ　新規(2017年8月より)　https://jsspot.info/
(今後は徐々に新規のHPに移行しますので、変更をお願いします)

5. 会員諸氏の関係者で当学会への入会を希望する方がおられましたら、是非、ご紹介ください。入会用紙はホームページより入手していただくか、FAXまたはメイルで事務局までお知らせ下さい。必要書類を送付いたします。また、広告、展示等で協賛していただける企業のご紹介も是非お願いいたします。広告掲載(1～3号対象)および展示(学会大会)に関わる情報は学会ホームページから入手できます。あるいは事務局にお問い合わせください。資料を送付させていただきます。

6. 当学会についての問合せ、ご意見等ありましたら事務局(村松)までご連絡ください。e-mailあるいはFaxでお願いします。折り返し、連絡させていただきます。

(文責　村松成司)

編　集　後　記

機関誌の発刊がこのところ遅れに遅れ、会員の皆様にはご迷惑をおかけしています。本誌は本来年 3 回発刊され、基本、各巻第１号、第３号は主に原著論文、研究資料、活動報告を掲載し、第２号は大会号となり大会プログラム、抄録掲載、総会案内になっております。またそれぞれの各号にはその時点での新鮮な情報をタイムリーに提供するように企画されておいます。しかしながら、近年、論文等の投稿が少ないことから、機関誌の発刊が遅れがちになり、加えて情報も新鮮みが失われがちになります。また、そのような場合にも会員の皆様にタイムリーに提供しなければならない案件もあり、機関誌作成時期と内容にずれが生じ、意味をなさない場合もありますう。そこで、タイムリーに提供しなければならない案件についてはホームページを積極的に活用させていただきたいと考えています（後に機関誌による文面での提供）。様々な電子機器を用いて積極的に情報が求められる現代では、年に３回発刊の本誌による情報提供では一抹の寂しさを感じるのではないかと思われます。より関心の高い情報を頻繁に得たり、提供したりするためには現代生活ではやはりインターネットは必要不可欠な手段であります。とはいえ、機関誌には研究論文、研究資料、活動報告、教養講座、他の情報提供手段としての重要な役割があります。これは今後もしっかりと続けていくことが大切である。会員の皆様には機関誌派と電子機器派と分かれるかもしれませんが、それぞれの特長を活かした情報提供あるいは情報収集を効率よく行うことが情報過多社会の現代でますます求められてくると思われます。今後とも機関誌あるいはインターネット情報サービスも是非ご活用ください。（SM）

編　集　委　員　会

滝瀬定文(委員長)

増原光彦　片岡幸雄　行田直人　渋谷権司　村松成司

Journa1 of Sport Sciences and Osteopathic Therapy

Vol.20 No.1 August 2018

禁無断転載

スポーツ整復療法学研究(第 20 巻・第 1 号)

非　売　品

2018 年 8 月 30 日発行

発行者　日本スポーツ整復療法学会　会長　増原光彦

発行所　日本スポーツ整復療法学会事務局

(https://jsspot.info/)

〒263-0012　千葉県千葉市稲毛区萩台町 664-83

TEL&FAX: 043-254-8311 E-mai1:mshigeji@faculty.chiba-u.jp

郵便振替:0110-4-98475

印刷所:三陽メディア株式会社

〒260-0824　千葉県千葉市中央区浜野町 1397 番地

TEL: 043-266-8437 FAX: 043-266-1498

Vol.20. No.1 August 2018

JOURNAL OF SPORT SCIENCES AND OSTEOPATHIC THERAPY

CONTENTS

Materials

Keisuke Mori ..... [1]

Construction of a general-purpose Web syllabus system using WordPress

Shiro Nawa ..... [7]

On the educational method for vocational college students of judo therapy using internet videos.

News

Guidance of "The 20th Japan sports Sciences and Osteopathic Therapy congress in 2018" (Second Report)

Editor's postscript

The Japanese Society of Sport Sciences and Osteopathic Therapy(JSSPOT)